

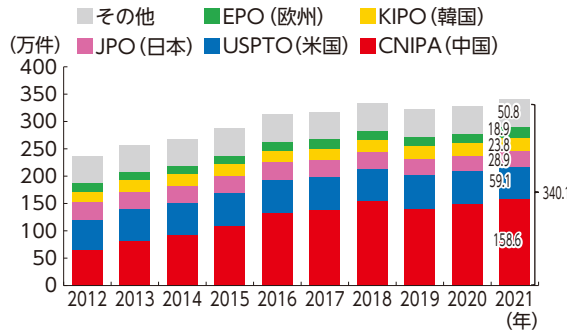
第6章

出願動向の変化とグローバル化

POINT

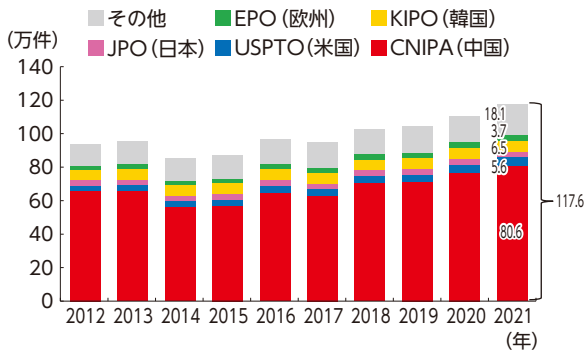
- 世界の特許出願件数は中国の特許出願件数の著しい増加により、2012年から2021年までの10年間で1.5倍となっている。[1-6-1図]
- 意匠分野においては、中国が単独で世界の出願件数の約7割という圧倒的な割合を占めている [1-6-2図]。
- 商標分野でも、中国の伸びが著しく、出願区分数では945万件となった。[1-6-3図]
- 2021年における五庁が受理した海外からの特許出願の比率を見ると、日本・中国・韓国の特許庁では約10%～23%程度である一方、米国・欧州特許庁では50%を超えている。[1-6-4図]
- 五庁以外のアジア、オセアニア、南北アメリカ等のほとんどの特許庁において、海外からの出願の方が国内出願よりも多い。[1-6-5図]
- 世界全体としては、特許出願がグローバルに行われていると言える。

1-6-1図【世界の特許登録出願件数の推移】



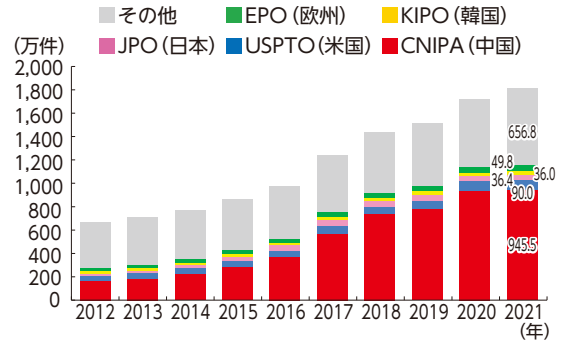
(資料)・WIPO Intellectual Property Statistics を基に特許庁作成。

1-6-2図【世界の意匠登録出願件数の推移】



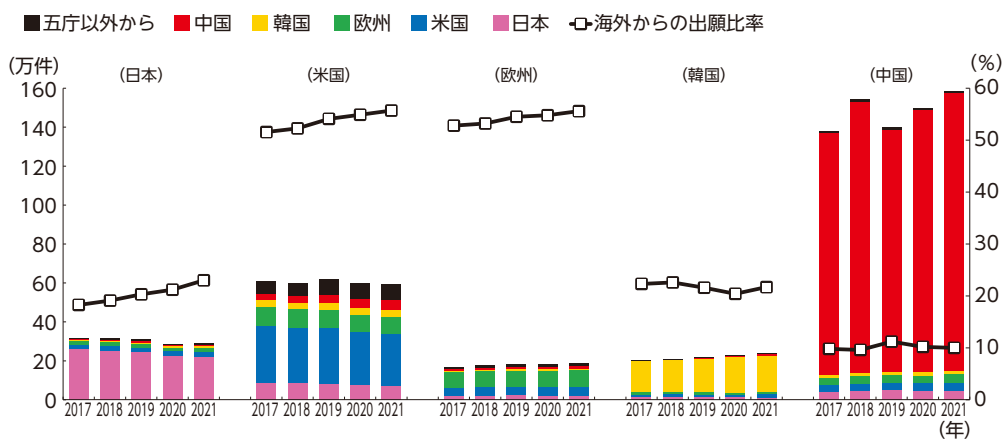
(資料)・WIPO Intellectual Property Statistics を基に特許庁作成。

1-6-3図【世界の商標登録出願区分数の推移】



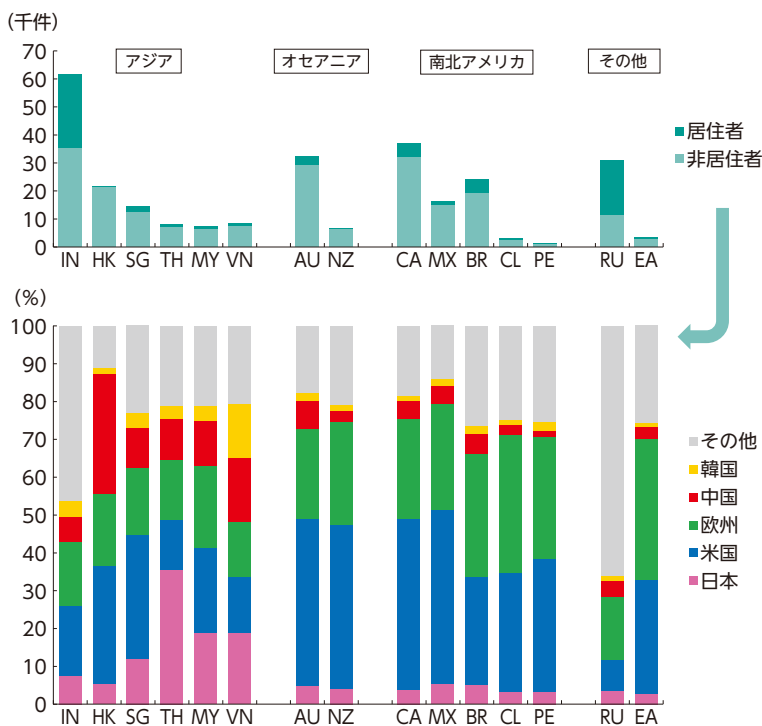
(資料)・WIPO Intellectual Property Statistics を基に特許庁作成。

1-6-4図【五庁への特許出願の状況】



(備考) ・欧州からの出願は、各年末時点のEPC加盟国の居住者による出願。
 ・欧州への出願は欧州特許庁への出願。
 ・各国特許庁における国内内訳は下記資料に定義に従っている。
 (資料) ・WIPO Intellectual Property Statistics に基づき特許庁作成。

1-6-5図【五庁以外の主な特許庁への出願状況(2021年) 特許出願件数(上) 及び 外国出願人による特許出願の内訳(下)】



(備考) ・欧州からの出願は、EPC加盟国の居住者による出願。
 ・ユーラシア特許庁の居住者による出願は、EAPC(ユーラシア特許条約)加盟国の居住者による出願。
 ・各国特許庁における国内内訳は下記資料に定義に従っている。
 (資料) ・WIPO Intellectual Property Statistics に基づき特許庁作成。

